

歩いてわかる「中央区ものしり百科」 正誤表

該当箇所	誤	正
P.95 一行目	かつて問屋街を形成した横山町・馬喰町・堀留町を抜けて	問屋街を形成している、堀留町・横山町・馬喰町を抜けて
P.99 立ち寄りスポット	<p>江戸時代、馬喰町の公事宿に投宿する旅人のために小間物問屋などが開店したのが問屋街のはじまりとされる。繊維・衣料・生活用品の問屋街として、その名は広く内外に知られている。横山町・馬喰町・新道通りでは年2回、「大江戸問屋祭り」が開催され、この日限りの問屋体験を楽しむことができる。</p> <p>なお、明暦の大火が発生する以前の横山町付近には、西本願寺の別院（現在の築地本願寺）があった。</p>	<p>江戸開府以来、堀留町には呉服商が集まっていた。</p> <p>横山町付近には西本願寺別院など寺社が数多く置かれていたが、明暦の大火により移転した。この地は重要な街道筋であり跡地に帯やかんざしなどの小間物問屋・紙煙草入問屋・地本双紙問屋などが集住し、問屋街として江戸の生活を支えた。現在も、繊維・衣料・生活用品の問屋街として、その名は広く内外に知られている。横山町・馬喰町・新道通りでは年2回、「大江戸問屋祭り」が開催され、この日限りの問屋体験を楽しむことができる。</p>